

= 時に関する意識・実態調査 第20回『みんなの感涙事情』 =

2012年7月10日(火)～2012年8月6日(月)にWEBマガジン「REAL SCALE」上でアンケートを実施

回答者=全国の2,708人 男性:1,620人/女性:1,088人

20歳未満:64名/20歳代:438名/30歳代:699名/40歳代:685名/50歳代:490名/60歳以上:332名

[Q.1] 一年以内に感動の涙を流しましたか？

★母と子の絆は強し！女性の涙の理由は出産、妊娠、子育て etc...

映画を観たり、本を読んだり、人の優しさに触れたとき、思わず涙がぼろり。そんな経験のある方も多いかと思えます。

そこで今回は「一年以内に感動の涙を流しましたか？」という質問を行いました。その結果、全体では74.7%の方が『ある』と回答。男女別では、男性69.1%に対して女性83.1%と、女性の方が多い結果となりました。

女性は妊娠・出産に関するエピソードが多く、「妹の結婚式。花束贈呈のときに妹が読み上げた母への手紙で泣いてしまった(和歌山県・女性)」「妊娠中になるのですが、パパが胎動に反応して、お腹の子に話しかけている姿に感動した(静岡県・女性)」等のコメントが寄せられました。また、子育てに関するコメントも多く、「3歳の息子が、“お母さん、毎日お料理作ってくれてありがとう。洗濯してくれてありがとう。幼稚園の送り迎えしてくれてありがとう。絵本をたくさん読んでくれてありがとう。抱っこしてくれてありがとう”と言いながら、幼稚園で描いた似顔絵をプレゼントしてくれたとき、嬉しさのあまり泣きました(東京都・女性)」等、思わずホロっとくる素敵なエピソードも多く寄せられました。

男性が子育てに参加するのが当たり前になった時代でも、やっぱり“母と子の絆は強し”ということでしょうか。

〈 図1:一年以内の感涙有無 / 全体・性別 (N=2,708) 〉



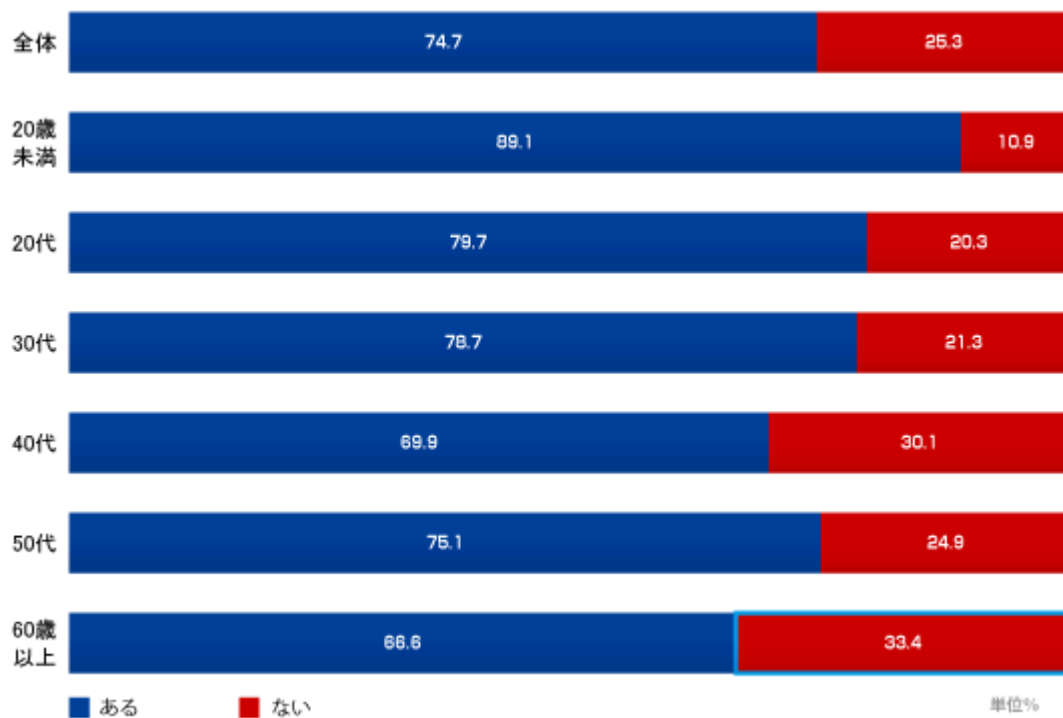
◎意外?!最年長世代が最も泣かない!その実態とは

一年以内に感動の涙を流したか、という質問の回答を世代別に見ると、多くの世代で『ある』が70%を超えたのに対して、40代と60歳以上だけが60%台という結果になりました。なかでも感動の涙を流す機会が最も少なかった60歳以上からは「若い頃は映画を見に行き行って最後に泣くことも多かった。最近はあまり……（滋賀県・女性）」や「若い頃は涙もろく、人によくからかわれたりもしましたが、近年、年のせいで感性が鈍ったのか、涙を忘れてしまったようです。残念！（東京都・男性）」のように、年齢を重ねるにしたがい、感動して泣くことが減ったというコメントが多く、また、なかには「子供の頃から男は簡単に泣くなと言われて育った（群馬県・男性）」といった“日本男児”らしいコメントも寄せられました。

しかし、感動して涙を流すことが減った方がいる一方で、「年を取ったせいなのか、昔は何でもなかったTVドラマのお涙頂戴の場面で素直にウルウルしてしまう（三重県・男性）」や「最近は年をとったせいか涙もろい。でも、後で思えばそんなに感動するべきシーンでなかったりすることも（富山県・男性）」のように、少数派ながら、年を重ねて涙もろくなったという意見も寄せられました。

年を重ね、酸いも甘いもかみ分けて簡単には泣けなくなったという方。人生の機微を知り、すっかり涙もろくなったという方。両方いらっしゃるようですが、皆さんはどちらでしょうか？

〈 図2:一年以内の感涙有無 / 全体・年齢 (N=2,708) 〉



[Q.2] その感動の涙は、どれ位続きましたか？

★大人になっても女性は泣き虫？半数近くの女性が5分以上泣くと回答

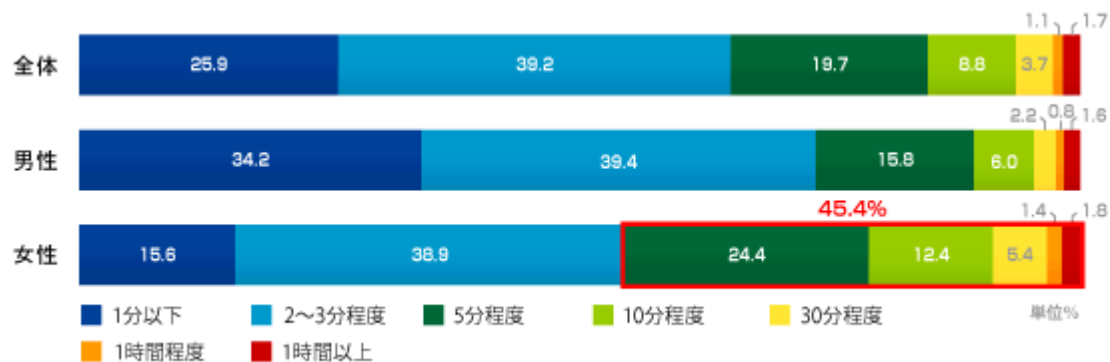
感動して泣いた時間についてお聞きしたところ、男女を通じて最も多かった回答は『2～3分程度』。続く2位は男性が『1分以下』、女性が『5分程度』という結果になりました。男性の7割以上が『1分以下』『2～3分程度』であるのに対し、女性は半数近い人が5分以上涙を流しているようです。では、そんな女性の長～い感涙体験のエピソードをいくつかご紹介。

「初めての出産で苦しさ以上に感動して主人と一緒に涙が止まらなくなりました。(徳島県・女性)」や「育児疲れで、きつく夫にあたってしまった。思いがけず優しい言葉を返され、涙が止まらなかった。(大阪府・女性)」等のように、出産や家族の優しさに触れたときに大泣きしたという方。また、敢えて大泣きをするという方も少なからずいらっしゃるようです。「貧しい少年と犬の姿を描いたアニメは私の十八番です。辛いとき、ストレスが溜まった時、これを観て大泣きすると気分もスッキリ！(北海道・女性)」等のように、泣くことでストレスを発散する方も。さまざまな感涙体験が寄せられました。

ですが、なかには「夜中に読んでいた本の内容が自分の経験とそっくりで思い出し泣き。鼻水をびーびーかんでいたら、寝ていた夫から“うるさい！”と怒られました。ごめんなさい(神奈川県・女性)」といったエピソードも。

涙を流すことは体にも心にもよい影響を与えるという研究結果もあると聞きます。泣きたいときは我慢せずに泣くのも良いかもしれません。でも、周りの人を困らせないような心配りは必要ですね。

〈 図3:感涙時間 / 全体・性別 (N=2,024 一年以内の感涙経験者のみ回答) 〉



★長時間感涙！涙腺ユルユルな若者世代。その理由は？

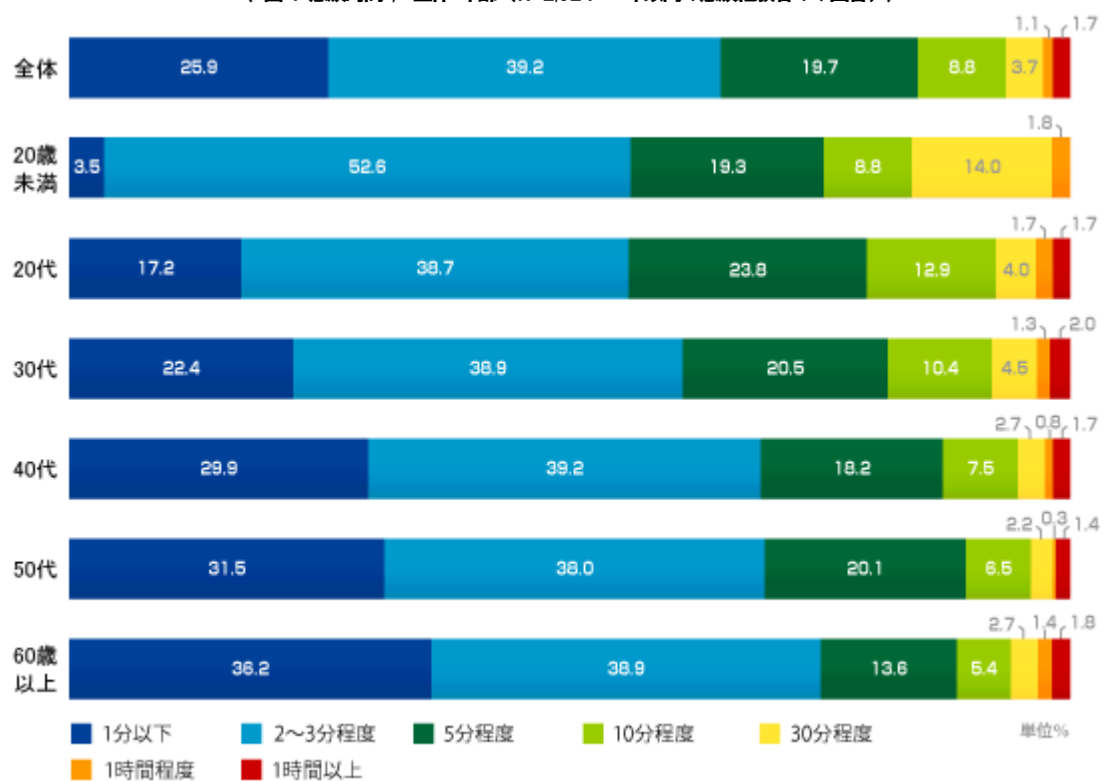
感動して泣いていた時間を世代別に見ると、若い世代になるほど『1分以下』の占める割合が少なくなる、つまり泣いている時間が長いという興味深い結果になりました。

20歳未満、20代が感涙する理由としては、「プロポーズした時、初めて彼女が泣いている姿を見た。それを見て思わずこっちも泣いてしまった（東京都・男性）」や「妊娠したことがわかり、自分がお母さんになるのかと思ったら、感動して泣いてしまった（神奈川県・女性）」等、結婚や妊娠、出産といった人生の節目を迎える機会が多いこと。さらに仕事面でも「転職する為に会社を辞める際、職場でずっと厳しく指導してくれていた先輩が泣いてくれ、おもわず私も涙（千葉県・女性）」のような転機が多く、それらが“よく泣く若者世代”という結果に繋がったようです。

また、意外にも「最近何にでも感動します。あり過ぎて書ききれないほど（大阪府・女性）」や「何にでも泣きます。とにかく涙腺弱くてどうにかしたいくらいです（笑）（佐賀県・女性）」などのコメントも見受けられました。

昔から“年をとると涙もろくなる”と言いますが、その言葉に反し、今どきの若者は年長者以上に涙もろい“涙腺ユルユル世代”と言えそうです。

〈 図4:感涙時間 / 全体・年齢 (N=2,024 一年以内の感涙経験者のみ回答) 〉



[Q.3]それは、何に感動しての涙ですか？

◎男性はスポーツでの涙が第2位。“なでしこジャパン”の活躍に感涙

感動して流した涙の理由をお聞きしたところ、全体の半数が『映画・TV』と回答。見ているうちに登場人物や物語に感情移入して、感極まり涙を流すケースが多いようです。しかし、第2位は男女で差がありました。女性の第2位が『その他』だったのに対して、男性は『スポーツ』と回答。なかでもダントツで多かったのが、我々が“なでしこジャパン”の活躍に関する内容でした。

「なでしこジャパンがワールドカップで優勝した瞬間、両手を挙げて鼻水たらしながら涙してしまいました（兵庫県・男性）」や「なでしこジャパンの優勝とそれまでの軌跡に感涙した（静岡県・男性）」など、不遇の時代を乗り越えて世界の頂点まで上りつめた彼女たちの姿は、「なでしこジャパンの世界制覇。震災以降落ち込んでいた日本人に強烈なシュートをくれた（茨城県・男性）」というコメントが象徴するように、日本中に感動と勇気を与えてくれました。

多くの男性が一度は抱くスポーツ選手という夢。その叶わなかった思いを、テレビの向こうで活躍するアスリートに託しているのかもしれない。

いつも素晴らしいプレーや演技で私たちに魅了するアスリート。特に男性は、その姿に心を動かされる人が多いようです。先日閉幕したロンドンオリンピックでも、選手たちの真剣な姿やメダルを獲得した時の嬉し泣きを見て、思わず感涙したという人も多かったことでしょう。

〈 図5:感涙対象 / 全体・性別 (N=2,024 一年以内の感涙経験者のみ回答) 〉



◎各世代で“子ども”と“動物”は鉄板。世代格差は“本（マンガ）”に

感動して流した涙の理由を世代別に見ると、全体では『映画・TV』が第1位、続いて『その他』『スポーツ』という結果となりました。

『映画・TV』に関するものでは「子どもが一生懸命おつかいに行く番組で、感動して泣きました（神奈川県・女性）」や「動物との感動のお話は泣きっぱなしです（北海道・男性）」など、「あまり涙は流さない方ですが、子供や動物もののテレビには弱いです（山梨県・女性）」というコメントが示すとおり“子ども”と“動物”のけなげな姿に思わず涙してしまう方が多いようです。

なかには、「子供向けと思って気楽に見ていたアニメで感動して涙してしまい、子供が嘔然としていた（神奈川県・女性）」という経験をお持ちの方も。

特徴的だったのは『本（マンガ含む）』で涙したという方の割合。50代、60歳以上では約4%だったのに対し、20代～40代では約10%と、2倍以上の方が本やマンガで“感動の涙を流した”と回答。なかでも、「海洋冒険モノの人気マンガを読んで、いい大人が泣きました（苦笑）。やはり、人気あるものはそれなりに理由がありますね！（神奈川県・男性）」のように、友情や絆を描くマンガで泣いてしまったというコメントが目立ちました。

涙を流すきっかけはどうか、心を動かされる場面に出会えるのは幸せなことに違いありません。これからもそんな機会を大切にしたいものです。

〈 図6: 感涙対象 / 全体・性別 (N=2,024 一年以内の感涙経験者のみ回答) 〉

